

市長と語ろう！笠間タウントーキング 第12回 議事録

開催日時 平成21年9月4日（金） 午後7時～8時40分

開催場所 岩間海洋センター 会議室

参加者 市民 17人

《フリートーク（意見交換）》

1. スカイロッジについての提言
2. 政権交代による農業施策の変更について
3. 笠間タウントーキングの参加者が少ないことについて
4. 緊急経済対策地域コミュニティ助成事業について
5. 健康ダイヤル24について
6. 要望に対する市の態度
7. 職員教育をしてほしい
8. 岩間地区の行事
9. 交通の妨げになる公共施設の案内板
10. 岩間中学校の共有スペースについて
11. 笠間支所の職員の昼食場所について
12. 学校規模の適正化について
13. 岩間インター周辺の企業誘致等について

《内容》

1. スカイロッジについての提言

【意見等】

現在の笠間市への観光客は年間320万人くらいで、茨城県で一番だと聞いている。岩間インターチェンジをはじめインターチェンジが4つもあり、交通のアクセスもよく、お客さんが多く集まる環境が整っている。今後、地元にお金が行くような観光行政を考えてほしい。

また、通年型観光対策が重要だと思っている。笠間地区を中心にいろいろなイベントがあって、それはそれでいいが、岩間地区にもあつご天狗の森スカイロッジがあり、季節ごとのイベントを考えていきたい。所長から観光協会や商工観光課に提案・要望をした場合、経営を向上させるために、お金のつかからないことであれば、地域のボランティアを含め、協働という考えで活用してほしい。

スズムシを例にすると、観光客が来れば自然があらされるという矛盾もあるが、笠間市が成り立っていく上で、また、財源を求める意味でも、お客様を迎えるという体制を取れるよう行政でも協力をしてほしい。

【回答】

笠間は今お話があったように、観光客は年間300～320万人とされています。観光の捉え方によって違いますが、通常笠間市は3番目で、一番多いのは大洗です。いずれにせよ、笠間にとって観光は非常に大きな施策とっており、交流人口といいますが、笠間市に訪れる観光客に、滞在していただいて、お金を使っていただいて、その経済効果を発揮するというのは目指すところです。

その観光の中で、岩間地区については、愛宕山のスカイロッジが一つの目玉になっており、現在運営は指定管理者制度で笠間観光協会にお願いしています。平成20年度については、19年度と比べ利用者が若干増えています。ずっと利用者が減ってきた中で、20年度に増えたということは、努力をしたからだと思っています。今、運営は観光協会に委託しているので、市では、利用をさらに拡大するために、ホテルやスズムシの鑑賞など、この地域でしか体験できないことなど積極的に取り組むようにしていると思います。観光協会には「自由にやってもらっていい。どんどん投資して、いい職員を雇って、拡大してくれ。」と言っています。

今、お客さんを呼ぶのにはそれなりの地域性や目玉になるようなものを取り入れていかないとなかなか振り向いてくれないので、観光協会も朝食無料サービスやオフシーズンの割引など、いろいろな取組みをしているところです。地域の自然と一体となった利用客の拡大をこれからも観光協会と一緒に、市も応援していきたいと思っています。

2. 政権交代による農業施策の変更について

【意見等】

政権交代後の農業施策の変更について、転作を実施しているが、12月には決めなくてはならないが、今の状況では、やるのか、やらないのかわからない。水と緑の補助金も増やすというような状況であるようだが、これもまだわからないのだろうか。

転作、休耕は12月までに決めてもらわないと、12月のうちに種と肥料を買わなくてはならないので、できるだけ早く連絡してほしい。

【回答】

いわゆる政権交代がなされたわけですので、減反に限らず、マニフェストに書かれていたように国の施策が大きく変わります。地方自治体にとって、どんな影響が出てくるのか、心配しながら見えています。減反については選択性と個別所得補償を民主党は掲げていますが、これらについても、どのようなスケジュールになるかわかりませんが、来年度の実施については、難しいような気がします。物事によっては、段階的に変わっていくもの、来年度から一気に変わるものと思えますが、できるだけ早く情報を取って、住民の皆さんに直結するものに関しては、早めに情報提供をしていきたいと考えています。

3. 笠間タウントーキングの参加者が少ないことについて

【意見等】

笠間タウントーキングに初めて出席した。非常に参加者が少ない。市の執行部の方が多いのではと思うくらい。PR不足なのか、市民の関心が少ないのか、他の地区の参加状況はどうなっているのか。せっかくの機会なので、会場がいっぱいの中でやってもらいたい。

【回答】

今年度、12回行ってきた中で、参加者は、15、6人から20人くらいです。今年は、少ないと思います。例年はずっと集まっていると感じています。なぜ少ないのかを考えると、開催時期や時間の設定などに問題やPR不足があるのかと思います。一方で、市民の関心も若干薄れてきているとも思っています。

参加者が増えないので、「広報かさまお知らせ版」で回覧したり、ホームページに掲載したり、区長さんに電話を差し上げていますが、なかなか参加者が増えないというのが現状です。できるだけ多くの人から意見をいただきたいと思っているので、参加者が多いことに越したことはありませんが、多い少ないに関わらず、出てきた意見を住民の声として聞いていきたいと思っています。少ないよりは多い方がいいというのが率直な感想ですが、今後反省点にしながら、集まりやすい方法やPRの手段を検討していかなければならないと思います。

4. 緊急経済対策地域コミュニティ助成事業について

【意見等】

緊急経済対策地域コミュニティ対策事業について、緊急というだけあって、本当に時間がなく、総会が開けず役員会だけで決めた。地区財政も逼迫していて2割の負担といっても、大きな事業が組みずにいた中、ぎりぎりの予算で提出した。

抽選で確立3分の1だからと、地区の皆さんには「期待しないで」と言って申請している。先日、通知がきて、申請が大変多かったと聞いている。超過した2600万円は議会で審議するとのことだが、見通はどうなのか。

また、申請を出さない地区に対しては、どのような考えを持っているのか。

【回答】

地域コミュニティ助成事業については、住民のみなさんに直接還元できるものは何かと考えました。個人還元はそれほどいい還元方法だとは思っていませんので、地域に還元する方法を考えた中で、「地域の集会所がかなり老朽化している」「高齢者の利用が多く段差の問題がある」「クーラーが入っていない」「トイレに浄化槽が設置されていない」などの意見をいただいていたので、それらに補助をするのが、住民還元になるのではないかと考えました。

われわれが考えていた以上に要望が多かったというのが現状で、それぞれ要望を出された区長さんからは、「住民の合意形成をとった」「いろいろな苦勞あった」「どうしても補助してほしい」という話が強くありました。議会からもそういう要望があり、抽選ではなく市からの持ち出しにして、整備を

一気にしてしまおうということで今回補正に上げました。議会にも理解をしていただいておりますので、議決はいただけると思っています。

今回申請をされなかった地域については、それ以上は考えていません。あとは、毎年の改修の制度がありますので、利用してもらいたいと考えています。

5. かさま健康ダイヤルについて

【意見等】

先ほど説明にあった「健康ダイヤル」というのは大変結構な話で、これを各家庭に配布するようなことをお願いしたい。これがあると大変安心して過ごせる。

【回答】

「かさま健康ダイヤル」は6月1日からスタートしましたが、スタート前に一度、電話機に貼るシールとチラシを全戸配布させていただきました。

制度を周知するという難しさはそういうところにあると思います。市も一度配ったからいいということではなく、今日のような集まりなどにチラシを配布するようにしています。

「かさま健康ダイヤル」は、6月と7月でおよそ500件の利用がありました。最近、ちょっとしたことで救急車を呼ぶような雰囲気も出てきていますので、あわてないで、24時間、専門家に相談し、家庭で対応できる相談窓口として、民間委託でスタートしました。これからも周知に努めていきたいと思えます。

救急車の利用回数にどう影響しているかは調べていませんが、そういうことにも期待しています。

【回答】

秋の頃に利用データがでますので、再度のPRを兼ねて広報紙等で紹介したいと思えます。

6. 要望に対する市の態度

【意見等】

中央省庁の官僚か、あるいは地方自治体の職員を指す言葉なのか、「検討します」とう回答は、「やらない」と同義語だと聞いたことがある。区長をやっている、いくつかの課に要望書を提出したことがあるが、「検討します」という言葉が返ってくる。担当の課ではたくさん抱えていて解決しないことが多いとは思うが、私は、区長だときちんと名乗って話しているのに、検討や協議の結果が返ってこない。区長として、区の方の要望をどう担当課に伝えて、どう解決に向かって努力したかという説明ができない。そうすると区長は頼りないと思われる。市が市民の信頼感を得られれば、市民も市に対し協力的になると思われる。

今後、口頭であっても文書であっても出した要望に対しては、検討結果をきちんと回答してほしい。

【回答】

区長さんには、市の行政で大変お世話になっていて、まずはお礼を申し上げたいと思えます。

「協議します」「検討します」という日本語は、都合がよく、「やる」「やらない」のどちらにも取れるかと思えます。

職員にいつも「たとえできなくても返答をしろ」と言っています。ややもすると何ヶ月もそのままになっていることもあるわけです。現場を見て、「できないならできません」「できますが時間がかかります」「来年度の予算で考えてみます」などの返答はするべきだと指導はしていきますが、行き届かないところもあったと思えます。これからもしっかり指導していきます。

行政の説明責任能力を植えつけないといけないと思えます。行政と住民の信頼関係を崩さないように、基本である返事ができるようにしっかり職員教育をしていきたいと思えます。

7. 職員教育をしてほしい

【意見等】

いろいろな事業を起こすにあたって、市役所の窓口相談に行く。必要書類を聞いて、後日提出しに行くと、「書類が足りない」「さらにこの書類が必要だった」と言われることが頻繁にある。2回に1回はあるくらい。職員が必要書類に気づかないのか。人間は完璧ではないので、足りない書類に気づいたら、提出に来たときではなく、気づいた時点で連絡を入れるのが常識であると思う。何かもったいぶられているように感じる。職員教育の中でもう少し強く、指導してほしい。

【回答】

申請する方には本当に迷惑な話であると思います。申請の内容の訂正はあっても、付属書類の添付については、職員が正確に案内すべきなので、改めて事務手続きを徹底したいと思っています。職員の知識や資質の全体的な向上を図るため、研修等をしっかりやっていきたいと思っています。

8. 岩間地区の行事

【意見等】

岩間地区には運動会や駅伝大会があった。地区対抗のゴルフ大会もあり、今笠間市で行っている大会より参加者も多く、かなり盛り上がっていた。その3つが今はない。内部の盛り上がりがかかりかけてきている。実施するには裏方の努力は大変かもしれないが、裏方が努力すればするほど、まち全体が盛り上がる。

合併していいこともあるが、人間というのは昔のいいことを思い出して、市になってなくなっておもしろくないことがあると、市長にあたるものだ。細かい不平不満をもう少し拾い上げてもらいたい。

【回答】

運動会は確かに廃止をしました。駅伝については、岩間地区の駅伝から新しい笠間地区のマラソン大会にしましたが、実施場所が笠間地区なので、皆さんにとっては笠間市全体の事業として事業拡大になったという実感がないのかと思います。小学生や中学生は大勢参加してもらっていますが、課題だと思っています。マラソン大会は拡大していきたいと考えています。

ゴルフ大会についても、それぞれ体育協会が主催して大会を開催していましたが、一つにまとめて市の体育協会が主催で実施されます。3地区を1本にまとめたわけですが、これに関しては、地区ごとで実施してもいいのではないかと体育協会に提案しています。季節を変えて、地区を越えてどこの大会にでも参加していいようにしてはどうかと、スポーツ振興課に体育協会と相談するよう指示していますが、なかなか進んでいないようです。

運動会は、もう少し続けて、継続か廃止かを検討すればよかったと思っています。運動会を行っていた友部地区と岩間地区でアンケートを取り、友部地区は継続に7割が反対で、岩間地区が五分五分でしたので、廃止にする判断が少し早かったかと反省しています。もう少し、時間をかけて、関係者とよく協議をしてから判断すればよかったと思っています。

今後制度などを見直すときには慎重に合意形成を図りながら進めていきたいと思っています。

9. 交通の妨げになる公共施設の案内板

【意見等】

施設の案内看板がいろいろ立っている。例えば海洋センターの入口にある案内板は交通の妨げになっている。海洋センターの方から県道に出る際、右左を確認するときに邪魔になっている。見通しがよくなるように直してほしい。

【回答】

案内板を設置する際には、交通の妨げにならないよう確認して設置していますが、万が一そういった箇所がある場合には、ご連絡いただければ、現地確認をして対応します。

10. 岩間中学校の共有スペース

【意見等】

岩間中学校の新しい校舎ができ、共有スペースがあると聞いたが、他校の例を含めてどういう活用をするのか。人の出入りの関係で防犯上の問題もあるかと思うが、どういう範囲で活用するのか、具体的なものが教えてほしい。

【回答1】

岩間中学校には地域交流スペースがあって、専用の入口があり、安全上の問題はありません。地域の方には開放していますので、会議など自由な使い方をしてもらいたいと思っています。現在、大原小学校と友部中学校の4階がこのような作りになっています。地域の集まりなどいろいろな使い方をしていただいています。

岩間中学校については、まだ施設利用の要項はできていませんが、申込みをして利用していただくこととなります。

【意見等2】

学校の生徒と触れ合う企画は考えていないのか。例えば、岩間町には愛宕博士という制度があった。

いろいろな面で長けた方が登録していて、昔のことなど体験学習的に生徒と接触するような企画はないのか。

【回答2】

今話したのは、建物の使い方について、何か特技を持った方と子どもたちの交流事業は行っており、三世代交流や小学校では放課後クラブで地域との交流を行っています。学校の事業として取組みをしています。

1 1. 笠間支所の職員の昼食場所について

【意見等】

他市の友人と一緒に坂本九の記念樹を見に笠間支所行ったのだが、お昼のチャイムがなり、職員が執務をしながら自席でお昼を食べ始めた。友人からあれはどうなのかと指摘をされた。スペースの問題もあるかと思うが、ついたてを立てるなど見苦しくない工夫をしたらどうか。

【回答】

笠間支所の食堂の話ですが、現実的には食堂のスペースがあるわけでもなく、昼休み時間であっても、市民の方はいらっしゃいます。対応しなければなりませんので、お弁当を持ってきている職員は、自分の席で食べているという現状です。確かに、見て格好がいいものではありませんが、やむを得ないかと思っています。笠間支所は比較的スペースがあるので、工夫できるかもしれませんが、本所はスペース的に無理のように思われます。よく考えてみます。

1 2. 学校規模の適正化について

【意見等】

岩間第二小学校は7年ほどでなくなるという話を聞いた。火のないところに煙は立たないというが、本当に岩間第二小学校はなくなるのか。

【回答】

誰がどう言っているのかわかりませんが、市ではそういうことは言っていません。最近の世の中は、火のないところに煙を立てる人がいるようで、困ってしまいます。

少子化で笠間市内のほとんどの学校に通う子どもたちが減っています。将来的に、子どもの数と21校ある市内の学校の数が適正なのかどうか、クラス数はどうなのか、そういった適正規模について、PTAや区長さんなどの代表者、学識経験者、議員などのいろいろな方を20人程度集めて、その中で議論していくところです。どこの小学校がなくなるといった話は、今のところまったくありません。まったく白紙の状態です。噂なので、否定してもらって結構です。

1 3. 岩間インター周辺の企業誘致等について

【意見等】

岩間インター周辺は茨城県内でも立地がよく、進出したいという会社もかなり多いと聞くが、道も狭く、水道も下水道も来ていないので、合併浄化槽で対応できるよう大きな配水管を道路に埋めてはどうか。

また、土師十字路で水戸方面から355号バイパスに合流する道路は、細いわりにかなり交通量が多く、その道に入る十字路のところが凹んでいるので、危険である。

【回答】

岩間インターの周辺は、企業立地の意欲の強いところだと思います。できるだけ、企業の要望を聞きながら対応をしていきたいと考えています。